

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

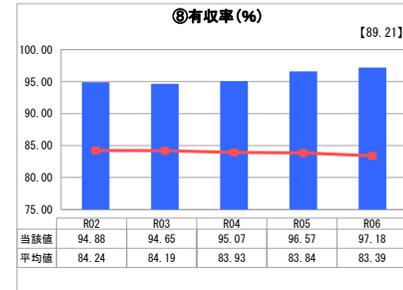
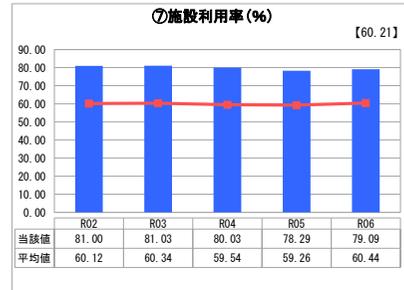
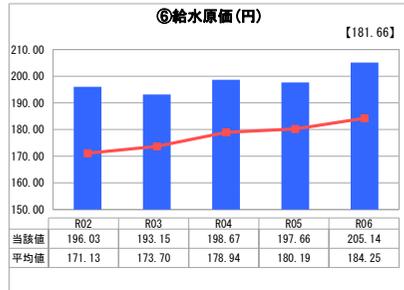
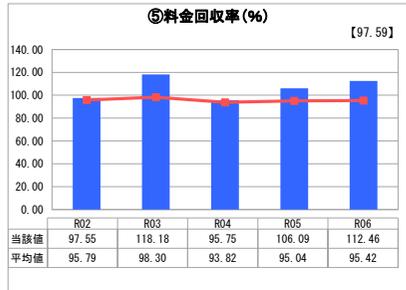
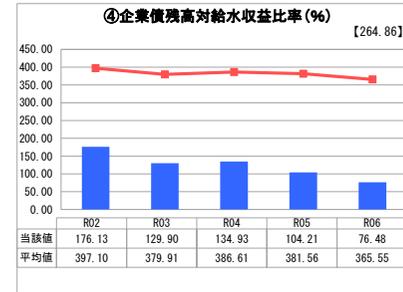
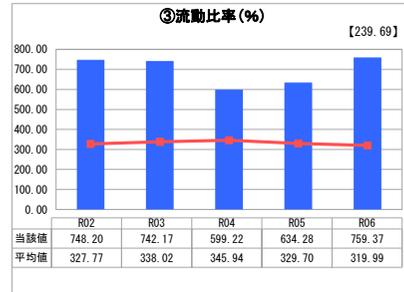
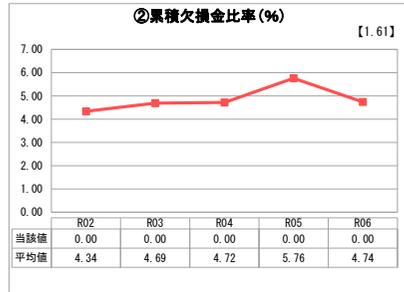
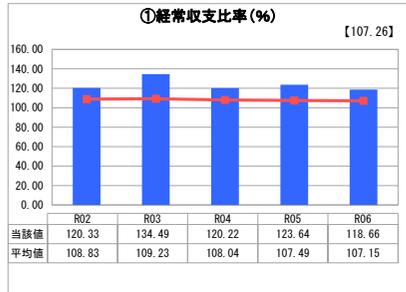
福岡県 志免町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	90.46	99.63	3,938	

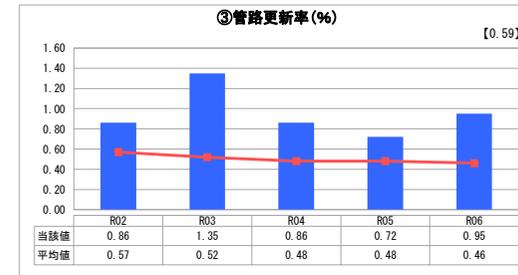
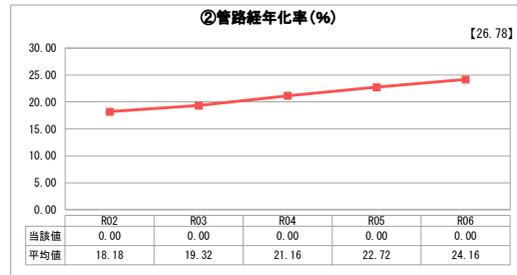
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
46,379	8.69	5,337.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
46,154	8.69	5,311.16

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

志免町の水道事業経営においては、毎年純利益が発生しているため健全な経営状況である。

- ① 経常収支比率は、当期の経営活動による収入で費用を賄えているかの指標で、黒字水準とされている100%を大きく上回っており、健全な状態である。
- ② 累積欠損なし。
- ③ 流動比率は、短期的な支払能力を表す指標で、類似団体より良い状態である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、給水収益に対する企業債残高の割合で、自主財源で計画的に更新工事を進めており、企業債残高は年々減少しているため、類似団体に比べ低くなっている。
- ⑤ 料金回収率は、経費を給水収益でどの程度賄えているかを表す指標で、賄えているとされる100%を超えている。
- ⑥ 給水原価は、有収水量1m<sup>3</sup>当たりの給水に要した費用で、福岡地区水道企業団からの受水費や維持管理等の費用が大きく、類似団体を上回っており、引き続き費用の削減に努める。
- ⑦ 施設利用率は、施設の処理能力に対する処理水量の割合、⑧ 有収率は、総給水量に対する有収水量の割合で、どちらも類似団体を超過している。

施設の稼働状況が適切に収益に反映されていることから、経営の効率性は高いものと考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

志免町の水道管・水道施設について毎年計画的に更新を行っているため、著しい管路の老朽化や早急に検討すべき課題はみられない。

- ① 有形固定資産減価償却率は、減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、類似団体平均値と概ね同様の増加傾向となっている。
- ② 管路経年化率は、法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合で、耐用年数を超えたものはない。
- ③ 管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合で、類似団体平均値を上回っており、早いペースで管路更新をしている。

## 全体総括

「⑤料金回収率」が100%を上回り、「①経常収支比率」も良好で、「②累積欠損」もないことから、現在のところ健全な経営状況と考えられる。今後、給水収益の大幅な増額は見込めず、管路や水道施設の更新費用が増進していくことが予測されるため、令和6年度に策定した経営戦略を基に、収益増の取組みや更なる効率化等を試み、健全な経営を維持できるよう努める。